

モズのはやにえ

木の枝やトゲなどにバッタやカエルが刺さっているのを見たことがありますか？これは「はやにえ」と呼ばれ、モズという鳥のしわざです。



モズ
オス (左)
メス (右)

モズ：スズメ科。日本全国で見られ、北部や山地にすむモズは秋になると比較的暖かい南の地域や標高の低い場所へ移動して冬を越します。昆虫、魚、カエル、トカゲなどの小動物をエサとし、小型の鳥を食べることもあります。

くちばしは鋭くとがっていて、先はかぎづめのようになっています。

～豆知識～

モズの高鳴き

秋になると、オス・メスともに独特の鳴き声で自分の縄張りを宣言するようになります。これを

モズの高鳴きといいます。また、“モズの高鳴きをその年の秋に初めて聞いてから75日後に霜

がおりる“という意味の「モズの高鳴き75日」という気候に関することわざもあります。



いろいろなモズのはやにえ

はやにえとは？

モズは捕まえた獲物を木のとげなどに刺しておきます。これを「はやにえ」といいます。はやにえを作る理由として、食べ物を蓄えておくため、縄張りを示すためなどと言われてはいますが、はっきりした理由は、よくわかっていません。



ひだりうえ みぎうえ
(左上・右上) バッタのはやにえ

した
(下) カエルのはやにえ



ちか
近くで はやにえ がないか

さが
探してみましよう！

